



車いす 車いす

車椅子は、「使い方」に応じて選びましょう。自宅での使用が多く、外出は近所の散歩くらいという方は、スタンダードタイプ。遠くへの通院や旅行など移動距離や移動回数が多い方は、軽量折りたたみ式がおすすめです。

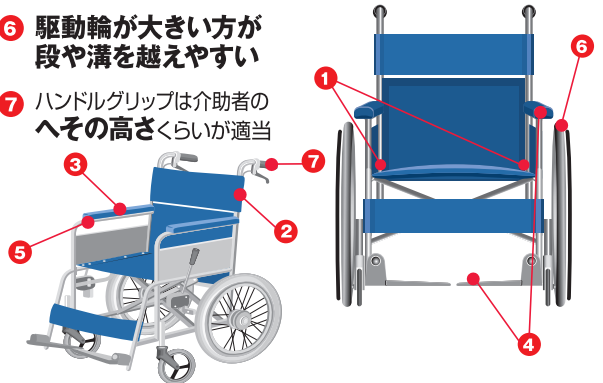
車いす

車いすの名称は？



サイズ選びの目安は？

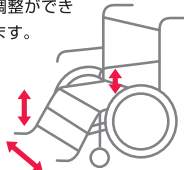
- 1 座った時、お尻の左右に各**2cmのゆとり**があるもの(介助の人の手が入るように)
- 2 バックレストは**肩甲骨の下**ぐらい
- 3 アームレストに腕をおくと**肘の角度が90度**に曲げられる
- 4 アームレスト・フットレストが**はずれると移乗がしやすい**
- 5 アームレストに**膝がくっつきすぎない**
- 6 **駆動輪が大きい方が段や溝を越えやすい**
- 7 ハンドルグリップは介助者の**へその高さ**ぐらいが適当



車いすの機能は？

モジュールタイプ

座幅やひじ掛け高さ等のサイズが調整できる車いすです。ご利用者により適合した調整ができます。



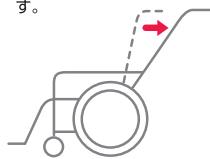
ティルト

車いすの座面と背もたれの角度を変えずに、後方に倒すことができます。ご利用者の身体がずれにくく、姿勢保持がしやすくなります。



リクライニング

車いすの背もたれの角度を調節できるので、ご利用者が楽な姿勢をとることができます。



低床タイプ

座面高が40cm以下なので身長の低い方も安心してご使用できます。ご利用者が自分の足で床を蹴って、車いすを操作することができます。



背張り調整

背シートの張り具合を調節できて、背中が背もたれに当たる圧迫感を和らげます。



ひじ跳ね上げ

ひじを跳ね上げ、車いすの横からの移乗に便利です。



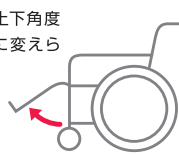
スイングアウト

フットレストが外に開いたり、取り外せるので、移乗の時に便利です。



エレベーターリング

脚部の上下角度が自由に変えられます。



ひじ高さ調節

ひじ掛けの高さを体格に合わせて調節できます。



車いすの基本的な使い方は？

● 広げる

- ①両側のブレーキをかける
- ②車いすを少し外側に開くようにする
- ③シートの両側を両手で押し広げる。この時、ゆびを挟まないように注意してください。



● たたむ

- ①両側のブレーキをかける
- ②フットプレートを持ち上げる
- ③シートの中央部を持ち上げる



● 押す

両手でハンドグリップを握り、介護される人に注意しながらゆっくり押す



● ブレーキをかける

- ①車いすの横に立ち、片手でハンドグリップを握り、他方の手でブレーキをかける
- ②反対側も同様にブレーキをかける

